

株 主 メ モ

決 算 期	毎年3月31日
定 時 株 主 総 会	毎年6月
基 準 日	毎年3月31日 その他必要あるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。
利 益 配 当 金	利益配当を実施する場合は、毎年3月31日現在の最終の株主名簿に記載または記録された株主もしくは登録質権者および毎年3月31日現在の最終の端株原簿に記載または記録された端株主にお支払いいたします。
中 間 配 当 金	中間配当を実施する場合は、取締役会の決議により、毎年9月30日現在の最終の株主名簿に記載または記録された株主もしくは登録質権者および毎年9月30日現在の最終の端株原簿に記載または記録された端株主にお支払いいたします。
名 義 書 換 代 理 人	三菱UFJ信託銀行株式会社 〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
同 事 務 取 扱 場 所	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 0120-232-711 (フリーダイヤル)
同 取 次 所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 野村證券株式会社 全国本支店
公 告 掲 載 新 聞	日本経済新聞 なお、貸借対照表および損益計算書は、当社ホームページに掲載しています。 http://www.sbigroup.co.jp/ir/notice/index.html



第8期 中間事業報告書

2005年4月1日～2005年9月30日

SBIホールディングス株式会社

SBIホールディングス株式会社

〒106-6019 東京都港区六本木一丁目6番1号
<http://www.sbigroup.co.jp/>

《 SBIグループの5つの経営理念 》

正しい倫理的価値観を持つ

法律に触れないからやっているとかが、儲かるからやるというのではなく、それを行うことが社会正義に照らして正しいかどうかで行うかどうかを判断する。

金融イノベーターたれ

従来の金融業のあり方に良き変革を志向し、インターネットの爆発的な価格破壊力を活用し、顧客中心主義を通じてその便益をより高める金融商品やサービスを創造する。

新産業クリエイターを目指す

インターネットやバイオテクノロジー分野を軸とした、21世紀の中核的産業の創造および育成を担うリーディング・カンパニーとなる。

セルフエボリューションの継続

経済環境の変化に柔軟に適應する組織を形成し、「創意工夫」と「自己変革」を組織のDNAとして組み込み、自己進化していく企業であり続ける。

社会的責任を全うする

社会的・経済的な側面から私どもグループ各社はそのステークホルダー(利害関係者)をはじめとする社会全体に対して、責務を果たす企業となる。

〈 免責条項 〉

この中間事業報告書に記載されている、SBIホールディングス(株)および連結子会社の現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実のないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは各資料発表時点においてSBIホールディングス(株)の経営方針により、入手可能な情報およびSBIホールディングス(株)が合理的であると判断した一定の前提に基づいて作成したものです。したがって、主要市場における経済情勢やサービスに対する需要動向、為替相場の変動など、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記述されている見通しとは、異なる結果となり得ることをご承知おきください。

Contents

経営理念	1
株主の皆様へ	2
SBIホールディングスの概要	3
当中間期のハイライト	5
事業セグメント別の概況	7
SBIグループビジョンの策定	10
中間連結財務諸表	15
中間単体財務諸表	18
株式の状況	20
会社概要	21
SBIグループ企業一覧	22

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は、当社事業にご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび第8期(2005年4月1日から2006年3月31日まで)の中間事業報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当中間期における当社は、「SBIホールディングス」として持株会社体制への移行をはじめとして、戦略的な業務提携の推進、新ネット銀行の設立合意、グループ内子会社の再編といった戦略を打ち出し、かつ実行することにより、新たに策定した3つのグループビジョンの達成に向けた本格的なスタートを切りました。SBIグループ全体の企業価値向上を目指すために、グループ内企業の自己増殖・自己成長にとどまらず、住友信託銀行(株)と共同で設立する新ネット銀行とSBIグループが築きあげてきた企業生態系とのシナジーを追求することによる革新的なサービスの提供も進めてまいります。

またSBIグループの事業領域につきましても、「住宅不動産事業」「生活関連ネットワーク事業」といった2つの新たな事業を加えることで、従来から中核としてきた金融分野を超えあらゆる事業分野に進出し、「戦略的企業革新者」(Strategic Business Innovator)として事業展開をしております。新たな事業分野につきましては、子会社の経営資源を再編成し、集中化することにより新事業の早期拡大を目指すものであります。

SBIホールディングスは常に進化し続ける企業集団として、ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを図るCSR(Corporate Social Responsibility)活動を通じ、企業価値を構成する株主価値・顧客価値・人材価値をさらに向上させてまいります。

株主の皆様には、今後とも変わらぬご支援ご指導を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

2005年12月



代表取締役執行役員CEO

北尾 吉孝

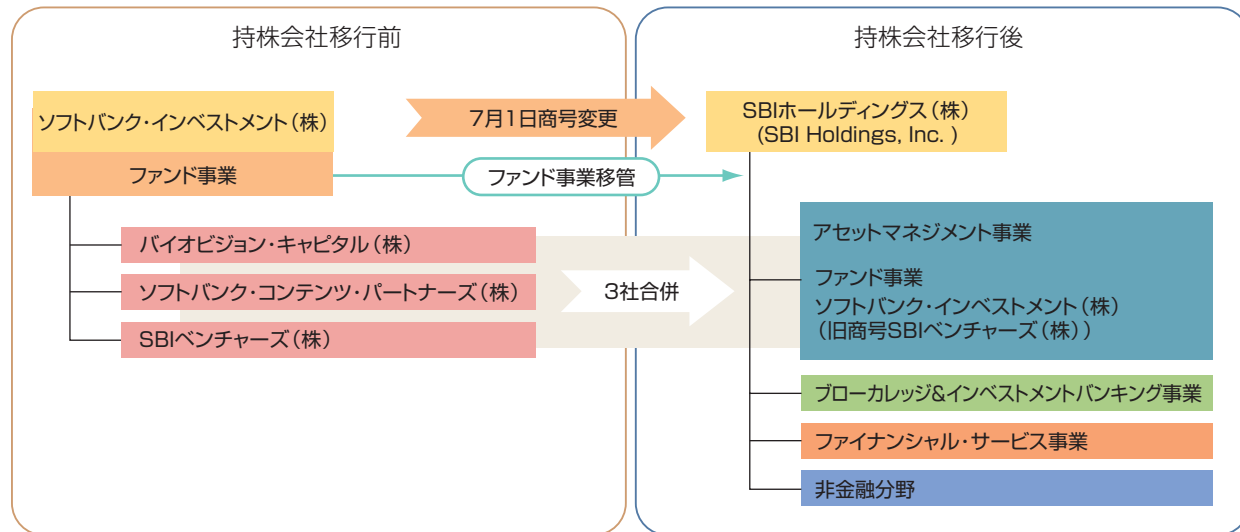
SBIホールディングスは、進化し続ける総合金融サービスグループとして、持株会社体制へと移行しました。

企業価値の飛躍的な拡大へ向けて。

2005年7月1日、ソフトバンク・インベストメント(株)はファンド事業等を分割し、100%子会社であるSBIベンチャーズ(株)に承継させるとともに、商号を「SBIホールディングス(株)」に変更し、持株会社体制に移行しました。

これにより、グループの経営理念とビジョンに基づいた全体戦略を持株会社において策定し、グループシナジーを徹底的に追求する事業ポートフォリオの構築を進めるとともに、金融のコングロマリット化の流れを先取る強固な総合金融グループ体制を確立いたしました。そして、金融ビジネスで培ってきた経営資源やノウハウを活用し、金融と密接する事業領域、グループ各社と関係する金融以外の事業領域への進出も視野に入れ、飛躍的な企業成長を目指してまいります。

持株会社SBIホールディングスの設立



SBIグループは3つのコアビジネスを中心とした総合金融グループを形成しています。



1株当たりの価値を高めながら、さらなる成長ステージに向けた飛躍を目指します。

当中間期におきまして、アセットマネジメント事業は営業投資有価証券売上高が15,462百万円（前年同期比662.0%増）、投資事業組合等管理収入が3,391百万円（同78.1%増）となっております。

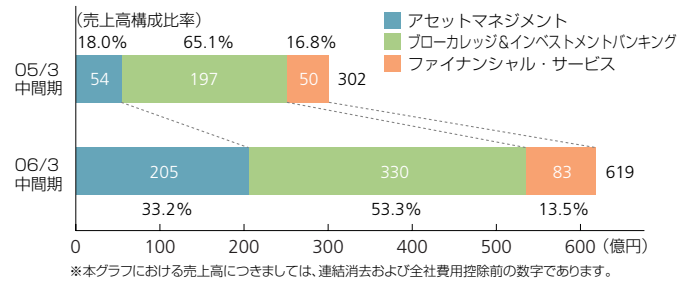
営業投資有価証券売上高は主に、米国モーニングスター（Morningstar, Inc.）株式の売却によるものであり、投資事業組合等管理収入は主に、2000年3月から7月にわたり設立されたソフトバンク・インターネットテクノロジー・ファンド（当初出資金総額150,500百万円）に加え、2004年9月から2005年4月に新たに設立したSBIブロードバンドキャピタル投資事業匿名組合、SBIブロードバンドファンド1号投資事業有限責任組合およびSBIビービー・メディア投資事業有限責任組合からによるものであります。

ブローカレッジ&インベストメントバンキング事業の売上高は証券関連事業収入が32,551百万円（同69.2%増）となっております。当該収入は主にイー・トレード証券（株）、SBI証券（株）およびE*TRADE KOREA CO., LTD. で計上

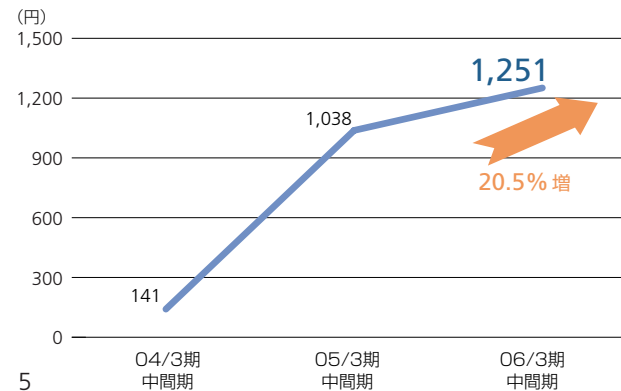
されたものであります。

ファイナンシャル・サービス事業の売上高は主に、マーケットプレイス事業、ファイナンシャル・プロダクト事業およびファイナンシャル・ソリューション事業等から構成されております。当中間期におきましては、ファイナンシャル・サービス事業収入が8,583百万円（同64.8%増）となっております。当該収入は主に、ファイナンス・オール（株）、SBIリース（株）およびSBIモーゲージ（株）等で計上されたものであります。

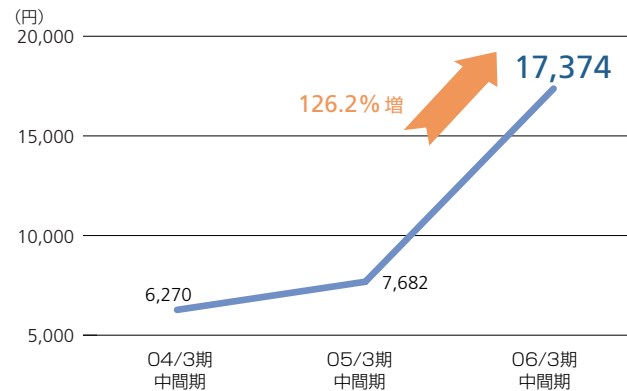
セグメント別売上高の構成比較



1株当たり中間純利益



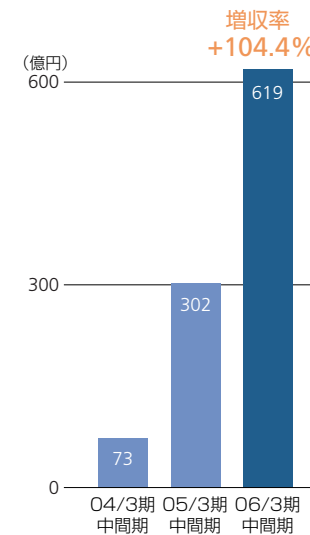
1株当たり株主資本



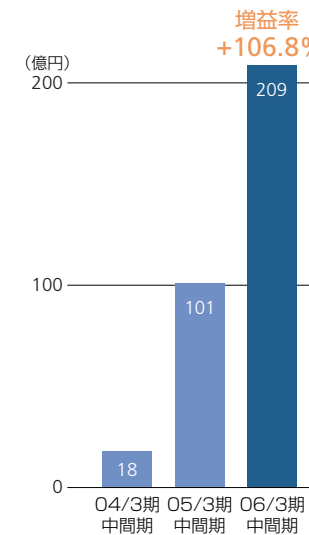
セグメント別売上高

	前中間期 2004.4.1～2004.9.30 金額(百万円) 構成比(%)		当中間期 2005.4.1～2005.9.30 金額(百万円) 構成比(%)		前期 2004.4.1～2005.3.31 金額(百万円) 構成比(%)	
	アセットマネジメント事業	5,593	18.4	20,740	33.5	24,462
株式等投資関連事業	3,933		18,853		15,899	
不動産関連事業	1,389		1,277		7,991	
投資顧問業務等	271		609		571	
ブローカレッジ&インベストメントバンキング事業	19,922	65.8	33,200	53.6	46,224	56.7
証券関連事業	19,238		32,551		44,923	
商品先物関連事業	683		649		1,301	
ファイナンシャル・サービス事業	5,209	17.2	8,583	13.9	12,408	15.2
セグメント間の内部売上高	△434	△1.4	△593	△1.0	△1,583	△1.9
合計	30,291	100.0	61,930	100.0	81,511	100.0

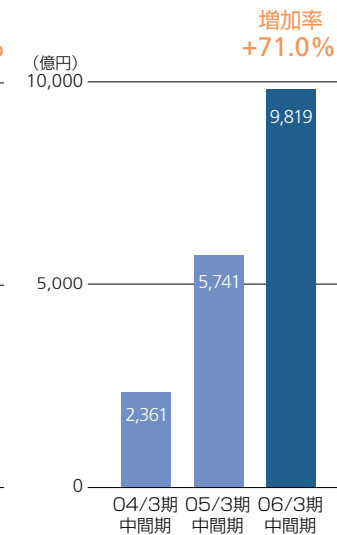
売上高



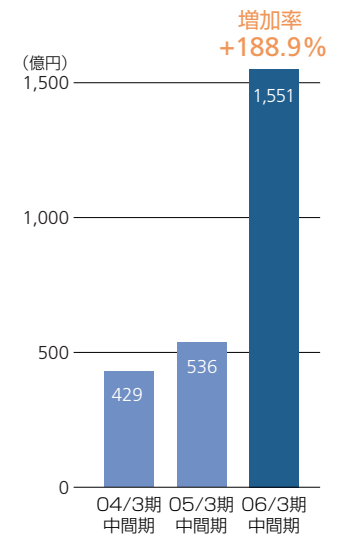
経常利益



総資産



株主資本



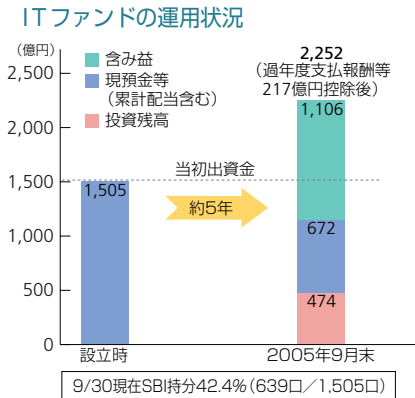
事業セグメントごとに当中間期のハイライトをご紹介します。

アセットマネジメント
事業

Asset
Management

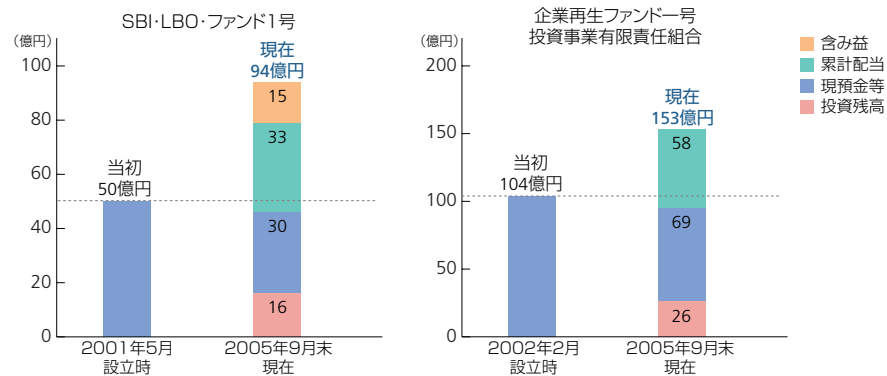
Highlights 事業ハイライト

■ 旗艦ファンドであるソフトバンク・インターネットテクノロジー・ファンド(ITファンド)の時価純資産が2,252億円(2005年9月末)に達し、当初出資金1,505億円に対して約1.5倍の水準となり、成功報酬の計上が視野に入る段階となりました。



■ SBI・LBO・ファンド1号の時価純資産が当初出資金50億円対比1.9倍の94億円(2005年9月末)、企業再生ファンド一号は当初出資金104億円対比1.5倍の153億円(同)となり、両ファンドとも運用状況は好調に推移しております。

LBOファンド・企業再生ファンドの状況



■ 未公開株組入ファンドI・IIの好調なパフォーマンスを背景に、同Ⅲの募集金額は目標である200億円を上回り、210億円に達しました。

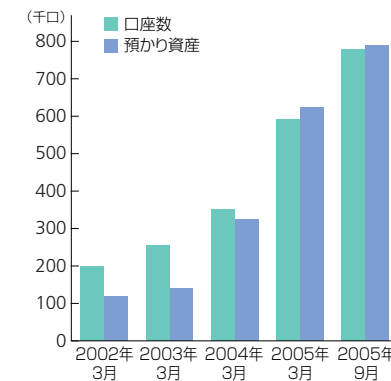
ブローカレッジ & インベストメント
バンキング事業

Brokerage & Investment
Banking

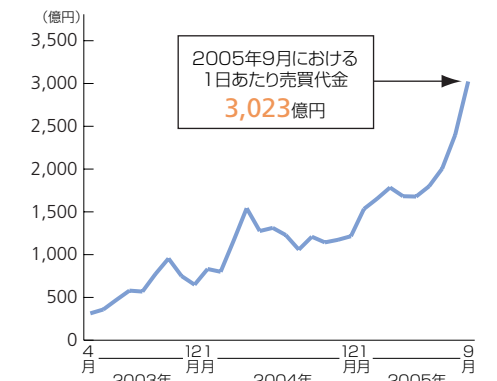
Highlights 事業ハイライト

■ イー・トレード証券(株)が営業収益・利益ともに中間期ベースで過去最高を更新し、連結営業収益および株式委託売買代金では、オンライン証券No.1となりました。また、圧倒的顧客基盤・引受実績を背景に株式引受の主幹事業を開始いたしました。

口座数/預かり資産の推移

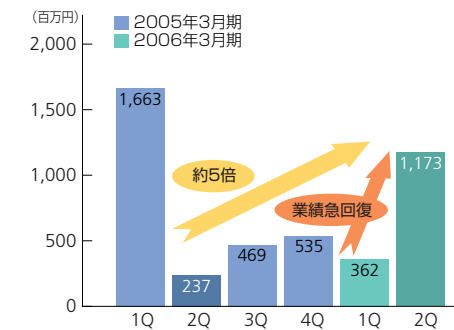


1日あたり平均売買代金の推移



■ リアル証券については、SBI証券(株)に経営資源を集中させ、同社は第2四半期に業績が急回復し、経常利益は前年第2四半期の約5倍となりました。

SBI証券四半期別経常利益推移

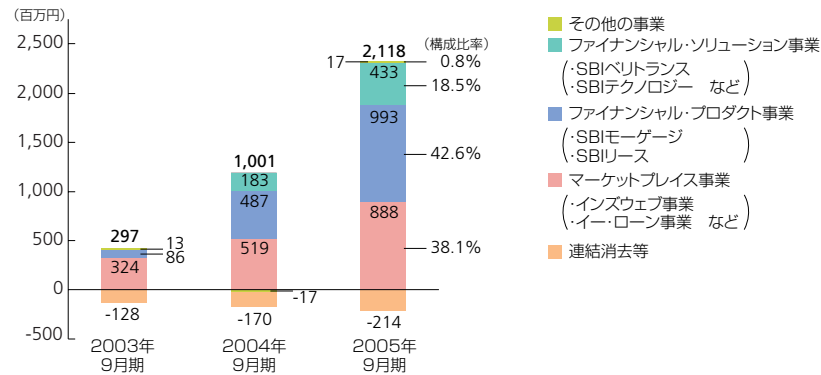


ファイナンシャル・サービス事業
Financial Services

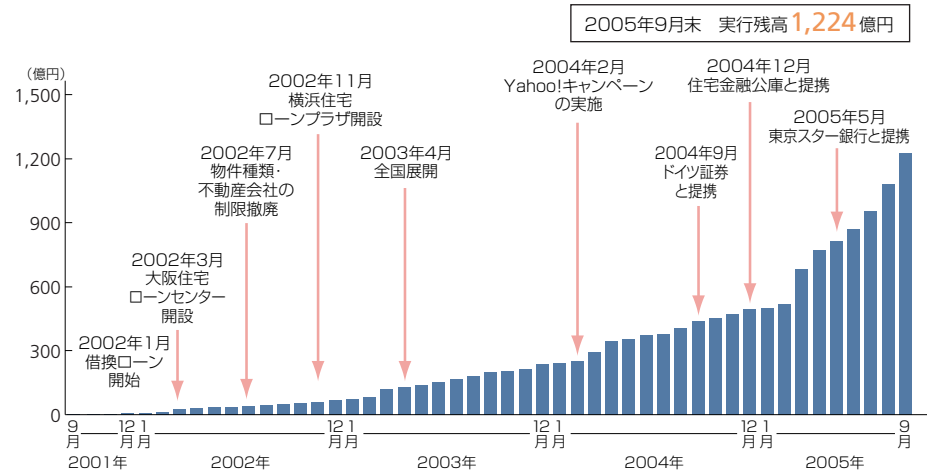
Highlights 事業ハイライト

■ ファイナンス・オール(株)が連結売上高・利益ともに過去最高を更新し、大幅増配を発表しております。同社のマーケットプレイス事業では見積もり件数69万件を突破し、子会社であるSBIモーゲージ(株)の公庫証券化ローン『フラット35』は絶好調に推移しております。

ファイナンス・オール(株)セグメント別連結営業利益



成長著しいSBIモーゲージ(株)の住宅ローン事業/住宅ローン実行残高推移



SBIグループでは、以下の4つの基準を念頭において3つのグループビジョンを策定いたしました。

- それは、明確なものでなければならない。
- それは、全グループ企業の役職員に事業の戦略的な方向性を認識させるとともに、仕事に対するモチベーションを高めるものでなければならない。
- それは、実現可能性が高いものでなければならない。
- それは、企業グループの全ての利害関係者に望ましい利益と価値をもたらすものでなければならない。

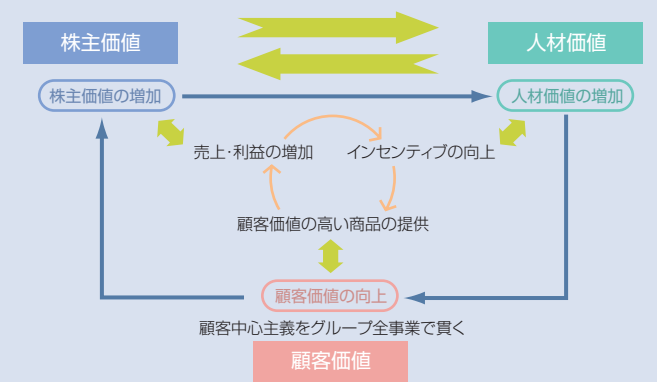
Vision-1

顧客価値を土台として、株主価値・人材価値との相乗効果を働かせ企業価値の極大化を図る。

SBIグループでは企業価値の再定義を行い、その構成要素である「株主価値」「人材価値」「顧客価値」の極大化を通じて企業価値の向上を図ってまいります。

「企業価値」向上のメカニズム

「企業価値」は、顧客価値の創出が土台となり、株主価値・人材価値と相互に関連しながら生み出され、増大されていく。



Vision-2

株主価値を現在の^{*1}グループ内上場企業の時価総額約1兆円から、3年後に3兆円、5年後に5兆円とする。

(^{*1} グループ内上場企業とはSBIホールディングス(株)およびその連結子会社、持分法適用関連会社を指します。)

■ 合算時価総額目標達成を目指す4つの基本方策

1. グループ内上場企業の自己成長・自己増殖

▶ 事例: 口座開設が急拡大するイー・トレード証券(株)や子会社による住宅ローン事業が好調なファイナンス・オール(株)の業績拡大。

2. グループ内未上場企業の株式新規公開

▶ 今後の株式公開候補企業例: SBIフューチャーズ(株)、ゴメス・コンサルティング(株)、E*TRADE KOREA

3. 株式交換等を用いた子会社化や合併によるSBIホールディングス(株)への企業価値取り込み

対象となる企業の主たる事業をSBIホールディングス(株)へ取り込むことで、その事業を飛躍的に拡大させ、当社事業への収益貢献度を増加させます。

▶ 事例: グループ企業の完全子会社化:^{*2}SBI証券(株)、SBIキャピタル(株)
SBIホールディングス(株)との合併:^{*2}ファイナンス・オール(株)、
^{*2}SBIパートナーズ(株)

(^{*2} 各社の臨時株主総会にて承認を得ることが条件となります。)

4. 合併・買収・ジョイントベンチャー(JV)の設立・戦略的提携

▶ 合併の事例: ソフトバンク・インベストメント(株)とイー・トレード(株)との合併
買収の事例: ワールド日栄証券(株)(現SBI証券)の買収
JVの事例: イー・トレード(株)、モーニングスター(株)、イー・ローン(株)、インズウェブ(株)、ゴメス・コンサルティング(株)の設立
戦略的提携の事例: (株)ゼファアとの戦略的資本・業務提携

■ 極めて短期間に合算時価総額は大幅に拡大

現在のSBIグループの合算時価総額

	2005年 4月26日現在	2005年 12月6日現在
SBIホールディングス(株)	3,224億円	6,589億円
イー・トレード証券(株)	3,810億円	8,222億円
ファイナンス・オール(株)	1,035億円	1,352億円
SBI証券(株)	472億円	805億円
SBIパートナーズ(株)	(グループ外)	954億円
モーニングスター(株)	135億円	231億円
SBIベリトランス(株)	186億円	169億円
(株)ゼファア	(グループ外)	1,120億円

2005年4月26日
8,862億円

1兆580億円
増加

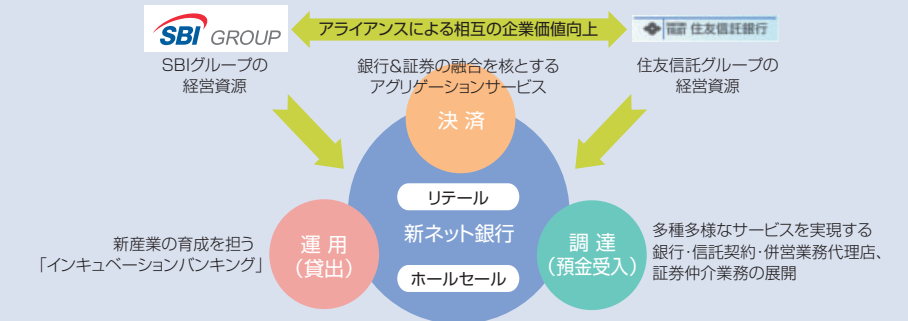
2005年12月6日
1兆9,442億円

■ 銀行業への進出

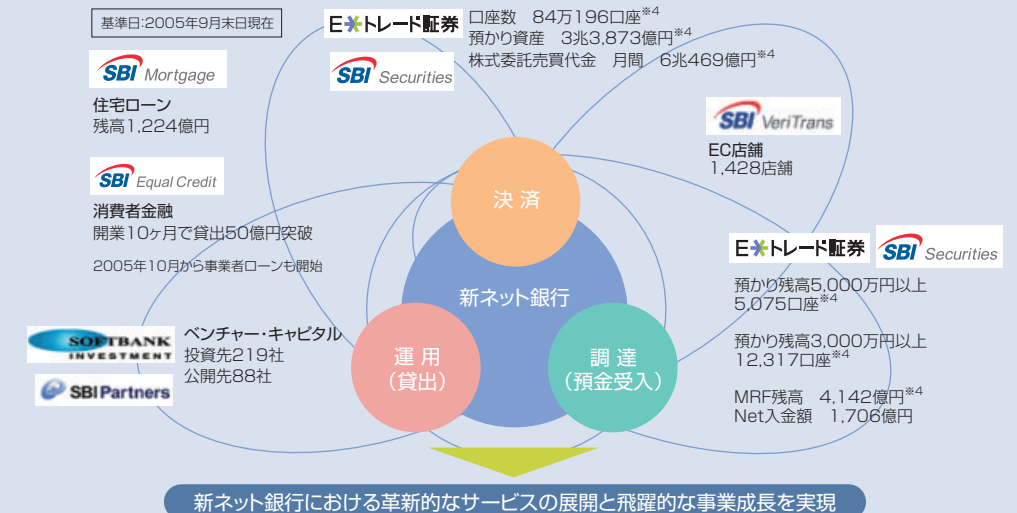
銀行業はSBIグループ設立当初から想定していたグループの中核的事業となるべきものであり、総合金融グループを形成する上で銀行業への進出は必要不可欠なものであります。SBIグループが設立する^{*3}新ネット銀行は、ネット銀行初のフルバンキング業務(決済、運用、調達)を展開し、SBIグループの企業生態系との相乗効果により新ネット銀行の事業拡大を促進させることが可能となります。

(^{*3} 今後、関係当局の許認可等を得ることが開業の条件となります。)

新ネット銀行ではネット銀行初のフルバンキング業務の展開へ



新ネット銀行の事業拡大を促進するSBIグループの企業生態系



(^{*4} イー・トレード証券(株)とSBI証券(株)の合計値です。)

Vision-2

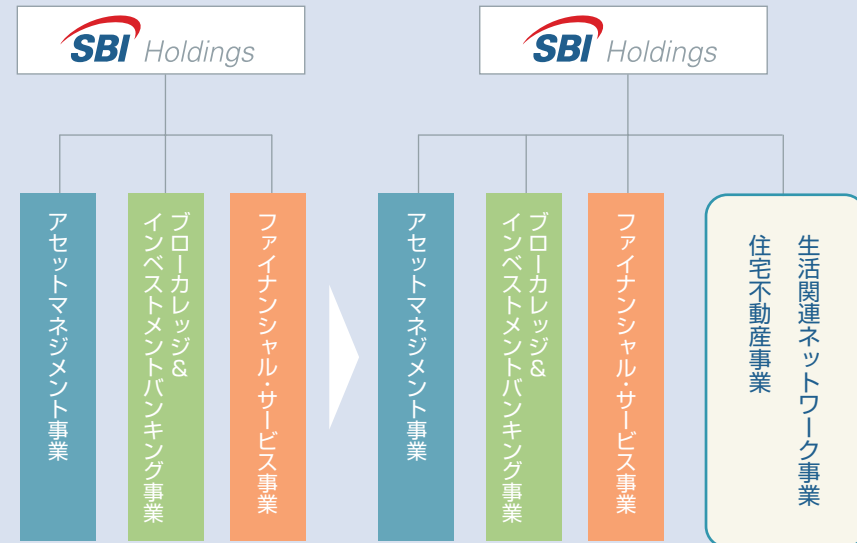
■ 3つのコアビジネスから5つのコアビジネスへ

SBIグループは、主に金融分野を中心に「アセットマネジメント事業」「ブローカレッジ&インベストメントバンキング事業」「ファイナンシャル・サービス事業」をコアビジネスに据え事業展開をしてまいりました。

2005年10月、「住宅不動産事業」と「生活関連ネットワーク事業」を新たに中核的的事业に加えることにより、その事業領域は従来の金融分野を超え、戦略的な事業革新者としてあらゆる事業分野に進出することになります。さまざまな生活局面において必要となる財・サービス・情報を提供することになるSBIグループは、SOFT-BANK INVESTMENTから「Strategic Business Innovator」へと進化し、あらゆる業種・業界に革新をもたらす事業ポートフォリオを有する企業集団を体現するものとなります。

3つのコアビジネスから5つのコアビジネスへ

住宅不動産事業・生活関連ネットワーク事業を、コアビジネスと明確に位置づける。



Vision-3

「強い企業」から「強くて尊敬される企業」を目指す。

「強い企業」から「強くて尊敬される企業」への転換は、社会性の認識、社会的信用の獲得、社徳を高めるといった3つのプロセスによる一種のパラダイムシフトであります。SBIグループは強くて尊敬される企業として、企業を取り巻く利害関係者とより良い関係を築き、株主価値・顧客価値・人材価値の総和としての企業価値の長期的な増大を図るものであります。

■ SBIグループの直接的社会貢献活動

1. 社会貢献に対する基本方針の策定

2002年1月ソフトバンク・ファイナンス(株)の取締役会において、「3億円以上の税引き後利益を計上したグループ会社はその利益の1%程度を児童福祉関連施設等へ寄附する」との基本方針を承認しました。

2. 寄附活動の本格化

2004年度につきましては、SBIホールディングス(株)(旧ソフトバンク・インベストメント)、イー・トレード証券(株)、SBI証券(株)の3社により全国174箇所の児童養護施設や福祉団体等に対する総額約1億6,700万円の寄附を実施しました。

3. グループの社会貢献活動の中核的法人の設立

SBIグループ各社は共同で、2004年12月にSBI児童福祉有限責任中間法人を設立しました。

4. 財団法人設立

さらにSBIグループの児童福祉活動の公益性と社会からの認知度向上を目的に、2005年10月厚生労働省の設立認可に基づき、財団法人SBI子ども希望財団を設立しました。

設立財団法人の概要

名称	財団法人SBI子ども希望財団 (The SBI Children's Hope Foundation)
所在地	東京都港区六本木1-6-1
基本財産	5億円 (拠出内訳) 北尾吉孝 3億円 SBIホールディングス(株) 1億円 イー・トレード証券(株) 1億円
活動内容	児童福祉向上を目的とした児童施設・団体・事業等への支援事業
設立年月日	2005年10月6日

中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表(要旨) 単位: 百万円

科 目	当中間期	前中間期	科 目	当中間期	前中間期
	(2005年9月30日現在)	(2004年9月30日現在)		(2005年9月30日現在)	(2004年9月30日現在)
資産の部			負債の部		
流動資産	901,226	529,739	流動負債	670,813	434,230
現金及び預金	124,991	79,348	短期借入金	6,535	7,903
受取手形及び売掛金	1,780	808	一年以内返済予定長期借入金	30,300	1,110
有価証券	262	1,244	一年以内償還予定の社債	—	458
預託金	249,888	137,983	未払法人税等	8,829	4,627
営業投資有価証券	93,627	5,470	信用取引負債	298,164	215,442
投資損失引当金	△ 359	△ 575	有価証券担保借入金	5,299	11,235
営業出資金	—	15,781	受入保証金	237,164	124,155
営業貸付金	10,008	—	預り委託証拠金	24,538	13,640
たな卸不動産	7,655	—	顧客預り金	18,600	27,476
トレーディング商品	5,090	2,604	偶発損失引当金	5	5,218
信用取引資産	371,322	253,113	繰延税金負債	5,037	—
有価証券担保貸付金	144	13,647	その他	36,337	22,961
短期差入保証金	8,824	8,450	固定負債	81,820	48,015
繰延税金資産	2,440	1,325	社債	43,400	—
その他	26,110	10,905	新株予約権付社債	33,000	33,000
貸倒引当金	△ 562	△ 369	長期借入金	1,150	12,000
固定資産	80,165	44,149	繰延税金負債	3,763	2,614
有形固定資産	13,060	12,660	その他	506	400
無形固定資産	22,692	5,588	特別法上の準備金	3,648	2,013
投資その他の資産	44,413	25,900	負債合計	756,282	484,259
投資有価証券	37,963	18,100	少数株主持分	70,481	36,172
繰延税金資産	1,102	620	少数株主持分	70,481	36,172
その他	7,289	9,767	資本の部		
貸倒引当金	△ 1,941	△ 2,588	資本金	42,157	8,542
繰延資産	543	239	資本剰余金	60,858	27,244
資産合計	981,936	574,128	利益剰余金	40,249	15,011
			その他有価証券評価差額金	14,382	3,090
			為替換算調整勘定	524	43
			自己株式	△ 3,000	△ 236
			資本合計	155,172	53,696
			負債、少数株主持分及び資本合計	981,936	574,128

(注) 記載金額の百万円未満を切捨てて表示しております。

中間連結損益計算書(要旨) 単位: 百万円

科 目	当中間期	前中間期
	(2005年4月 1日から 2005年9月30日まで)	(2004年4月 1日から 2004年9月30日まで)
売上高	61,930	30,291
売上原価	18,758	6,984
売上総利益	43,171	23,307
販売費及び一般管理費	23,507	14,923
営業利益	19,664	8,383
営業外収益	1,726	1,873
営業外費用	469	144
経常利益	20,921	10,113
特別利益	2,837	3,949
特別損失	2,315	729
税金等調整前中間純利益	21,443	13,333
法人税、住民税及び事業税	8,625	4,523
過年度法人税等戻入額	△ 219	△ 32
法人税等調整額	△ 2,950	△ 310
少数株主利益	5,255	1,917
中間純利益	10,733	7,235

(注) 記載金額の百万円未満を切捨てて表示しております。

中間連結剰余金計算書(要旨) 単位:百万円

科 目	当中間期	前中間期
	(2005年4月1日から 2005年9月30日まで)	(2004年4月1日から 2004年9月30日まで)
資本剰余金の部		
資本剰余金期首残高	53,466	27,092
資本剰余金増加高	7,391	152
増資による新株の発行	7,391	152
自己株式処分差益	0	0
資本剰余金中間期末残高	60,858	27,244
利益剰余金の部		
利益剰余金期首残高	33,377	9,771
利益剰余金増加高	10,733	7,268
新規連結による利益剰余金増加高	—	1
合併による利益剰余金増加高	—	31
中間純利益	10,733	7,235
利益剰余金減少高	3,860	2,028
配当金	2,985	1,784
役員賞与	385	223
新規連結による利益剰余金減少高	—	4
合併による利益剰余金減少高	488	16
利益剰余金中間期末残高	40,249	15,011

(注) 記載金額の百万円未満を切捨てて表示しております。

中間連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) 単位:百万円

科 目	当中間期	前中間期
	(2005年4月1日から 2005年9月30日まで)	(2004年4月1日から 2004年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 48,616	28,811
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 13,745	△ 780
財務活動によるキャッシュ・フロー	81,011	14,730
現金及び現金同等物に係る換算差額	472	15
現金及び現金同等物の増減額(△減少)	24,121	42,776
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	24
連結除外に伴う現金同等物の減少額	△ 11,111	—
合併による増加	—	6
現金及び現金同等物の期首残高	106,460	34,360
現金及び現金同等物の中間期末残高	119,470	77,168

(注) 記載金額の百万円未満を切捨てて表示しております。

中間単体財務諸表

中間貸借対照表(要旨) 単位:百万円

科 目	当中間期	前中間期	科 目	当中間期	前中間期
	(2005年9月30日現在)	(2004年9月30日現在)		(2005年9月30日現在)	(2004年9月30日現在)
資産の部			負債の部		
流動資産	147,225	35,387	流動負債	26,957	5,943
現金及び預金	47,212	12,582	短期借入金	—	1,500
売掛金	609	41	一年以内返済予定の長期借入金	19,000	—
営業投資有価証券	83,479	18,641	一年以内償還予定の社債	—	100
投資損失引当金	△ 15	△ 346	未払金	96	45
営業貸付金	2,220	696	未払法人税等	2,756	1,908
繰延税金資産	—	576	前受金	—	2,198
短期貸付金	12,839	3,146	繰延税金負債	4,935	—
貸倒引当金	—	△ 115	その他	169	189
その他	879	162	固定負債	77,605	33,112
固定資産	94,951	54,174	社債	42,000	—
有形固定資産	349	273	新株予約権付社債	33,000	33,000
無形固定資産	87	75	繰延税金負債	2,210	—
投資その他の資産	94,514	53,826	その他	394	112
関係会社株式	90,970	53,326	負債合計	104,563	39,056
投資損失引当金	△ 1,364	△ 1,922	資本の部		
投資有価証券	3,876	1,701	資本金	42,157	8,542
関係会社出資金	17	—	資本剰余金	60,858	27,244
関係会社長期貸付金	—	3,900	資本準備金	16,584	2,970
貸倒引当金	—	△ 3,900	その他資本剰余金	44,274	24,274
繰延税金資産	—	57	利益剰余金	22,348	13,587
その他	1,014	662	中間未処分利益	22,348	13,587
繰延資産	394	172	その他有価証券評価差額金	12,882	1,539
			自己株式	△ 239	△ 236
資産合計	242,571	89,734	資本合計	138,007	50,678
			負債・資本合計	242,571	89,734

(注) 記載金額の百万円未満を切捨てて表示しております。

中間損益計算書(要旨) 単位: 百万円

科 目	当中間期	前中間期
	(2005年4月 1日から 2005年9月30日まで)	(2004年4月 1日から 2004年9月30日まで)
売上高	15,693	4,707
投資事業組合等管理収入	658	1,374
営業投資有価証券売上高	13,911	1,643
不動産関連売上高	17	1,389
受取配当金	113	—
その他売上高	992	299
売上原価	10,079	2,847
営業投資有価証券売上原価	9,043	1,245
投資損失引当金繰入額	23	△ 78
不動産関連売上原価	—	1,183
その他売上原価	1,011	497
売上総利益	5,614	1,859
販売費及び一般管理費	1,573	875
営業利益	4,041	984
営業外収益	2,565	1,349
営業外費用	313	69
経常利益	6,294	2,264
特別利益	5,753	3,617
特別損失	0	9
税引前中間純利益	12,048	5,872
法人税、住民税及び事業税	2,797	1,991
過年度法人税等戻入額	△ 219	△ 32
法人税等調整額	△ 89	2
中間純利益	9,560	3,911
前期繰越利益	12,788	9,676
中間未処分利益	22,348	13,587

(注) 記載金額の百万円未満を切捨てて表示しております。

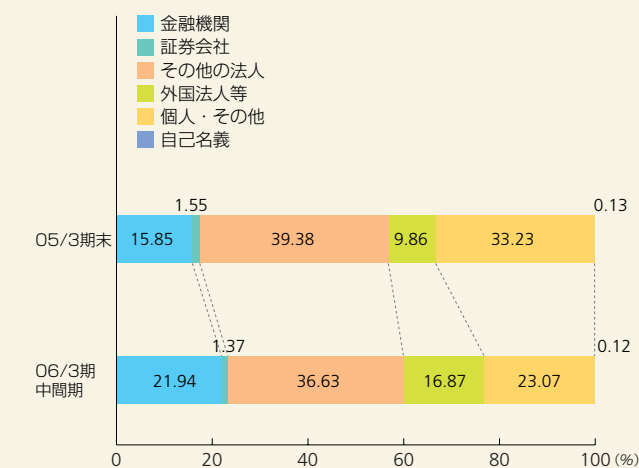
株式の状況 (2005年9月30日現在)

会社が発行する株式の総数 ————— 34,169,000 株
 発行済株式の総数 ————— 9,016,511.64 株
 株主数 ————— 73,123 名

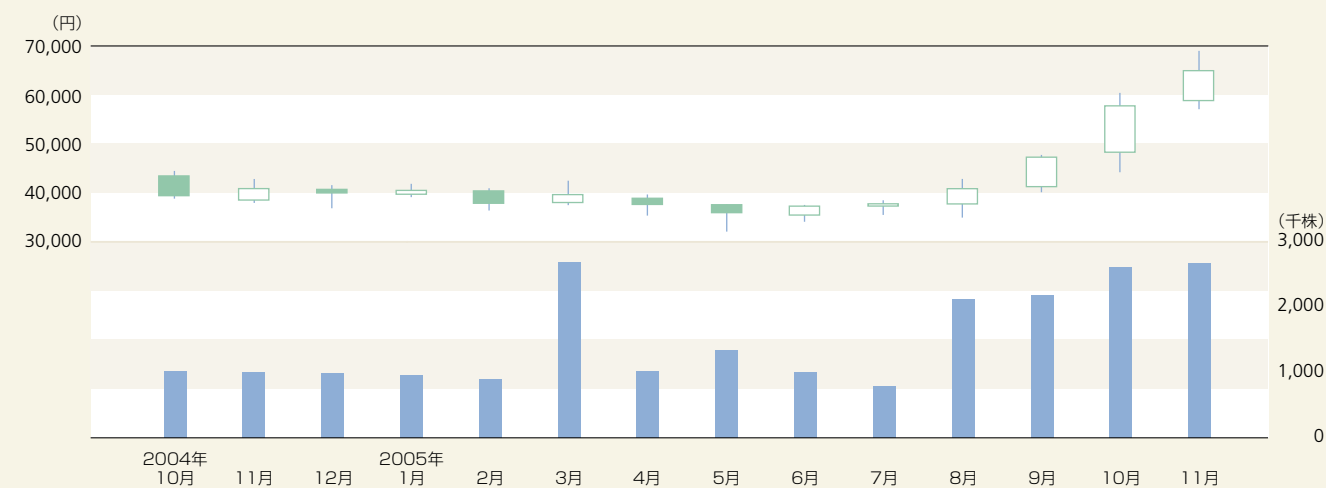
大株主(上位7名)

株 主 名	持株数(株)	持株比率(%)	
ソフトバンク・エーエム(株)	3,245,900	36.00	
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	527,725	5.85	
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	388,609	4.30	
バンクオブニューヨークジーシーエム	373,169	4.13	
クライアントアカウントツイーアイエスジー	(株)ゼファー	347,861	3.85
モルガンスタンレーアンドカンパニー	187,156	2.07	
インターナショナルリミテッド	136,602	1.51	
野村信託銀行(株)(投信口)			

所有者別株式分布状況(対前期末比)



株価/出来高の推移



社名 SBIホールディングス株式会社
 英文表記 SBI Holdings, Inc.
 本社 〒106-6019 東京都港区六本木一丁目6番1号
 事業内容 株式等の保有を通じた企業グループの統括・運営等
 設立 1999年7月8日
 資本金 42,157,512,225円
 従業員数 連結1,230名 単体84名

役員 (2005年9月30日現在)
 代表取締役執行役員CEO 北尾 吉孝
 取締役執行役員COO 澤田 安太郎
 取締役執行役員CFO 平井 研司
 取締役(非常勤) 伊澤 健
 取締役(非常勤) 井土 太良
 取締役(非常勤) 伊藤 雅仁
 取締役(非常勤) 田坂 広志
 常勤監査役 渡辺 進
 監査役 黒澤 範夫
 監査役 平林 謙一
 監査役 島本 龍次郎

連結子会社のセグメント別一覧

アセットマネジメント事業	ソフトバンク・インベストメント(株) SBIブロードバンドキャピタル(株) ソフトトレンドキャピタル(株) SBIキャピタル(株) SBIネルヴァ(株) SBI KOREA HOLDINGS CO.,LTD. SBI インキュベーション(株) SBIアセットマネジメント(株) SBIアルスノーバ・リサーチ(株) SBI Fund Management Company S.A. イー・リサーチ(株) SBIパートナーズ(株) (有)MBインテグラル パートナーズ・インベストメント(株) SBIプランナーズ(株) SBIプロパティ・アドバイザーズ(株) エスエフ・リアルティ(株) (有)アルファプラン ウイテリウス(株)
ブローカレッジ&インベストメントバンキング事業	イー・トレード証券(株) SBI証券(株) SBIフューチャーズ(株) E+TRADE KOREA CO.,LTD.
ファイナンシャル・サービス事業	ファイナンス・オール(株) SBIモーゲージ(株) SBIモーゲージ・コンサルティング(株) SBIリース(株) SBIファイナンシャル・エージェンシー(株) SBIテクノロジー(株) SBIペリトランス(株) SBIプロモ(株) イー・ゴルフ(株) イー・ゴルフサービス(株) モーニングスター(株) モーニングスター・アセット・マネジメント(株) ゴメス・コンサルティング(株) イー・アドバイザー(株) SBIイコール・クレジット(株) Finance All Solutions Co.,Ltd.
アセットマネジメント事業	(株)ゼファー ホメオスタイル(株) (株)サンフェル ユートピア・ライフ(株) 不動産買取サービス(株)
ブローカレッジ & インベストメントバンキング事業	(株)ネクシィーズ・トレード
ファイナンシャル・サービス事業	(株)キャナウ (株)株式新聞社

SBIホールディングスのホームページをご覧ください。



SBIホールディングスのホームページでは、事業報告書ではお伝えしきれない、さまざまな情報が開示されています。また、SBIグループの最新トピックスを動画でお知らせする「SBIチャンネル」では、北尾CEOがグループの戦略、新しい事業、ニュース解説、グループ会社情報などについて語っています。是非、ご覧になってください。



- 事業内容
- 企業情報・SBIグループ
- 株主・投資家の皆様へ
- ニュース

<http://www.sbigroup.co.jp/>

持分法適用非連結子会社および持分法適用関連会社のセグメント別一覧

アセットマネジメント事業	(株)ゼファー ホメオスタイル(株) (株)サンフェル ユートピア・ライフ(株) 不動産買取サービス(株)
ブローカレッジ & インベストメントバンキング事業	(株)ネクシィーズ・トレード
ファイナンシャル・サービス事業	(株)キャナウ (株)株式新聞社